

船舶事故調査報告書

平成30年12月19日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成30年6月24日 15時10分ごろ
発生場所	大阪府泉南市岡田漁港 大阪府岡田港沖防波堤北灯台から真方位101°280m付近 (概位 北緯34°23.5′ 東経135°16.6′)
事故の概要	プレジャーボート ^{モスアールファイ} SRV20は、南東進中、錨泊中の水上オートバイ ^{ウィンゴ} WIN GOに衝突した。
事故調査の経過	平成30年8月9日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート SRV20、5トン未満（長さ5.76m） 250-42054大阪、個人所有 B 水上オートバイ WIN GO、0.1トン 250-57415大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級小型・特殊
負傷者	なし
損傷	A 船首部外板に擦過傷 B 船首部外板に亀裂
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、知人1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、関西国際空港周辺でクルージングを行った後、休憩する目的で岡田漁港に向かった。 A船は、岡田漁港を南東進中、船長Aが、約4ノットの対地速力に減速し、船酔い状態の同乗者の様子を気にしながら操船していたところ、船首方約5mにB船を認め、船外機を後進としたものの、B船に衝突した。 B船は、岡田漁港の砂浜付近において、無人の状態で錨泊していたところ、その船首部にA船が衝突した。
分析	A船は、岡田漁港を南東進中、船長Aが、船酔い状態の同乗者の様子を注意を向け、船首方の見張りを適切に行っていなかったことから、前路で錨泊中のB船に接近していることに気付くのが遅れ、船外機を後進としたものの、B船に衝突したものと考えられる。 B船は、無人の状態で錨泊中、A船が衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、岡田漁港を南東進中、船長Aが、船首方の見張りを適切に行っていなかったため、前路で錨泊中のB船に接近していることに気付くのが遅れ、B船に衝突したものと考えられる。

再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 航行中は、操船に専念するとともに、常時適切な見張りを行うこと。
--------------	--